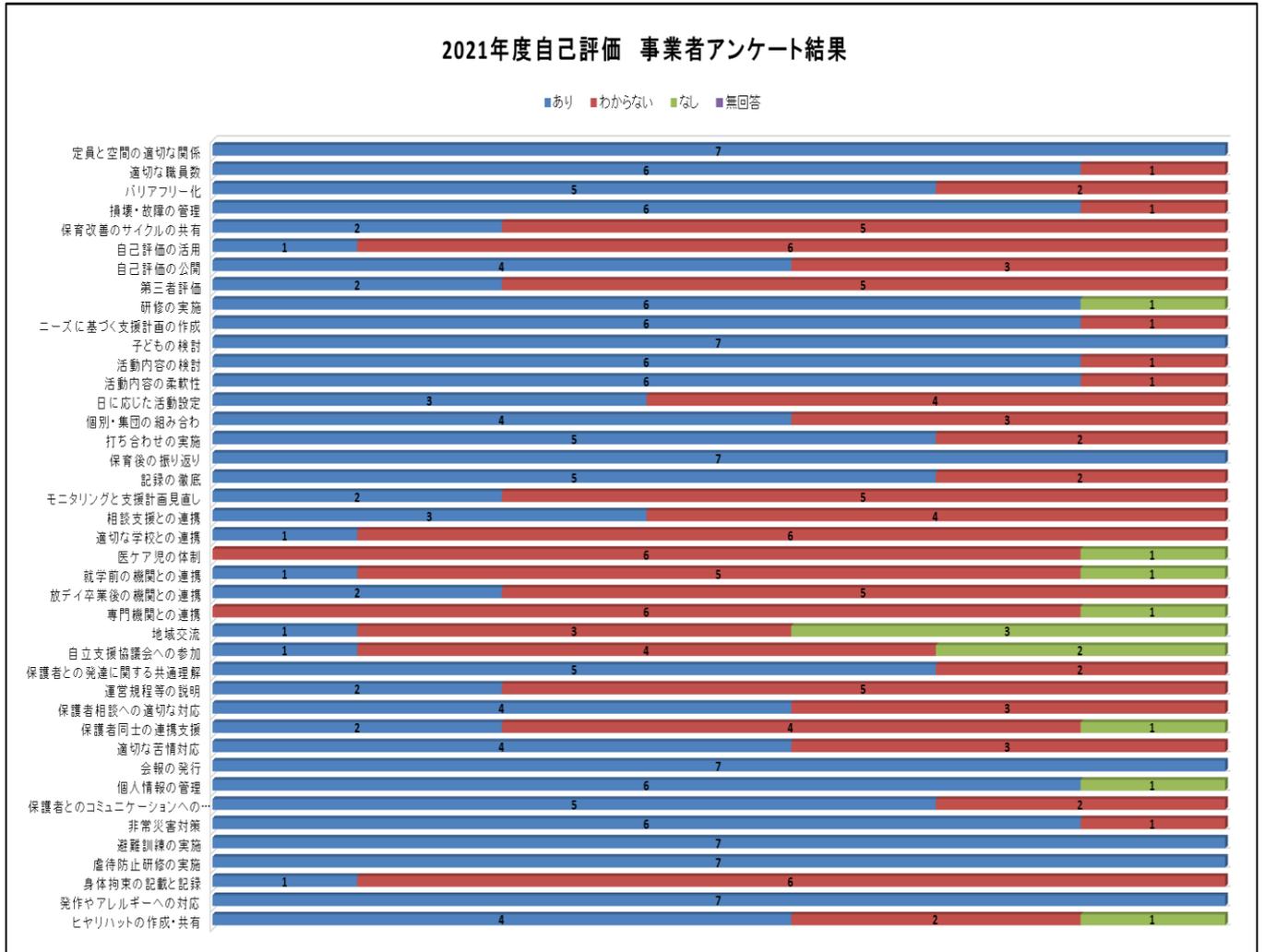


2021年度 事業者向け  
放課後等デイサービス評価表アンケート集計結果

事業所名	わんぱくクラブ駒沢	職員数	12人
アンケート実施期間	2021/12/23～	回答数	7人
	2022/1/15	回答率	58.3%

チェック項目		はい	わからない	いいえ	無回答	課題、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7				・スペースは広いが、部屋数が多いため、全体把握が困難な時がある。
	2 職員・スタッフの配置数は適切であるか	6	1			・子どもと職員の割合が、常時、2:1以上になっている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	2			
	4 子どもにとって危険がともなうような施設や備品の損壊・故障などはないか	6	1			・建物自体が古く、所々破損箇所がある。行政管理の建物なので、すぐに対応できないケースもある。
業務改善	5 業務改善推進のためのサイクル(保育の目標設定と振り返り)が、広く職員・スタッフに共有されているか	2	5			・終礼を毎日行い、課題を共有している。次の保育の打ち合わせで確認している。
	6 保護者等向け自己評価表を活用して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	6			
	7 自己評価の結果を、会報やホームページ等で公開しているか	4	3			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	5			・3年前を最後に受審していない。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		1		
適切な支援の提供	10 面談を行い、子どもと保護者のニーズを反映した個別支援計画を作成しているか	6	1			
	11 子どもの言動やその背景などについて全体で検討し、理解する場を設けているか	7				
	12 活動内容について、全体で検討する場を設けているか	6	1			
	13 日常の活動内容が固定化しないよう、工夫しているか	6	1			
	14 平日、休日、長期休暇に応じて、活動内容をきめ細やかに設定して支援しているか	3	4			
	15 個別活動と集団活動を、子どもに合わせて組み合わせているか	4	3			
	16 支援開始前に打合せをし、支援内容や役割分担などについて確認しているか	5	2			
	17 支援終了後に打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7				
	18 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	2			
19 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	2	5				
関係機関との連携	20 障害児相談支援事業所の担当者と連携しているか	3	4			・時々、相談支援専門員の見学がある。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定・下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	1	6			
	22 医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		6	1		
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有をしているか	1	5	1		
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	2	5			
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		6	1		
	26 他施設や、地域との交流があるか	1	3	3		
27 自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	1	4	2		・以前は参加していたが、扱うテーマが高齢者、精神障害などが多く、頻度が下がっている。	
保護者への説明	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	2			・引継ぎ時や連絡帳などで保護者とコミュニケーションをとっている
	29 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2	5			
	30 保護者から、子どもに関する悩み等の相談があった時は、適切に対応しているか	4	3			
	31 保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	4	1		
	32 子どもや保護者から苦情があった場合に、迅速かつ適切に対応しているか	4	3			

真 任 等	33	定期的に会報を発行し、活動内容や行事予定などの情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7				・今年度から月1回の定期的な発行ができるようになった。
	34	個人情報に十分注意しているか	6		1		
	35	保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	2			
非 常 時 等 の 対 応	36	火災や地震、感染症などの対策(マニュアル整備、職員や保護者への周知)がなされているか	6	1			
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難等の訓練を行っているか	7				
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7				
	39	身体拘束の実施について、個別支援計画に記載した上で実施し、かつその記録を取っているか。	1	6			
	40	てんかん発作やアレルギーのある子どもについて、保護者の指示に基づいて対応しているか	7				
	41	ヒヤリハット事例集を日常的に作成し、事業所内で共有しているか	4	2	1		



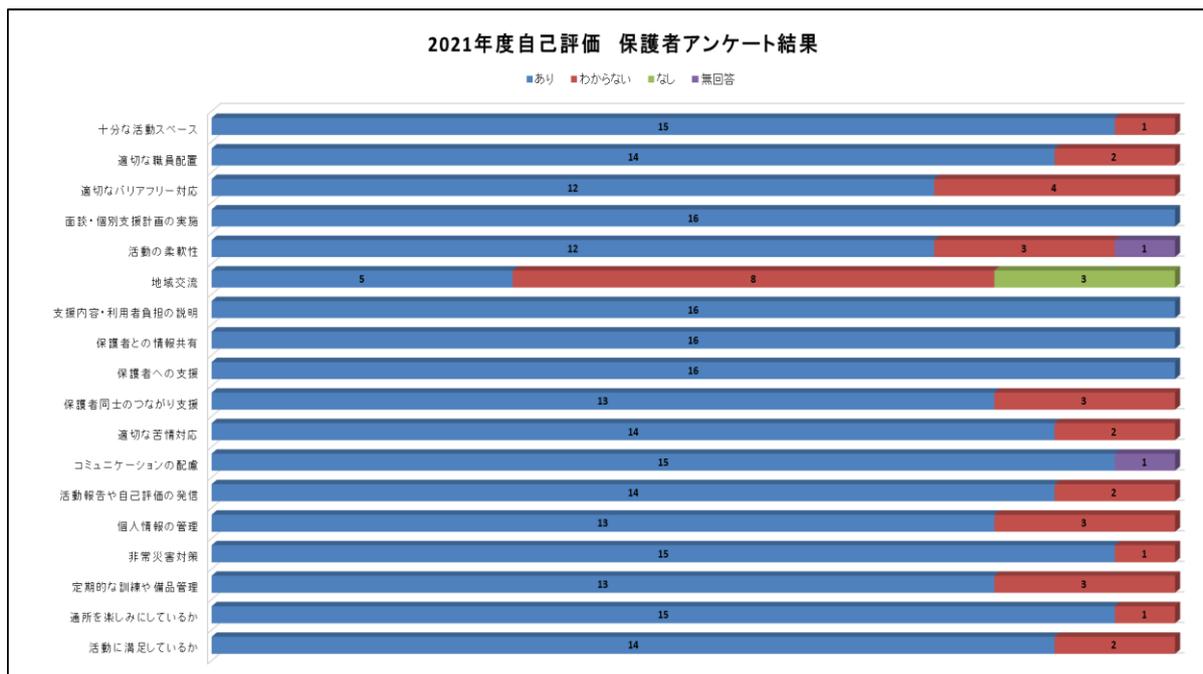
#### <全体的な評価・分析等>

- ・年度末を挟んだことや、コロナ感染拡大に伴う出勤減などで、回答率が低かった。
- ・保育に携わることはアルバイトスタッフも理解が高いが、「自立支援協議会への参加、他事業所連携、保護者への説明」など、運営に関することは「わからない」が主だった。対外的な連携の状況や、個別支援計画の中身の共有に注力したい。
- ・業務改善のサイクルについては、日々の終礼や打ち合わせでの検討・共有のみならず、週のまとめ、月のまとめなどの仕組みをきちんと回していくことが必要。
- ・身体拘束に関しては、22年度の虐待防止委員会の設置義務化に伴い、日常的なレベルでの確認や、記録の仕組みの共有を充実していきたい。
- ・本アンケートの結果のフィードバックや、説明なども、随時実施していけると良い。

2021年度 保護者向け  
放課後等デイサービス評価表アンケート集計結果

事業所名	わんぱくクラブ駒沢	世帯数	27世帯
アンケート実施期間	2021/12/23～ 2022/1/15	回答数	16世帯
		回答率	59.3%

チェック項目	はい	わからない	いいえ	無回答	課題、工夫している点など
環境・体制整備					
1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	1			・広く園庭もあり、ありがたいです ・十分だと思います。
2 職員の配置人数は適切か	14	2			・十分だと思います。
3 スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	4			
適切な支援の提供					
4 保護者との面談を通して子どもの育ちの状況を確認、個別支援計画が半年に1回は見直し、作成されているか	16				・丁寧に個々に対応して下さっています ・しっかりと対応されていると思います。
5 活動内容が固定化しないよう工夫されているか	12	3		1	・しっかりと対応されていると思います。制作活動も多くなりました
6 地域との交流があるか	5	8	3		・コロナ禍で交流できないのは仕方ないが、今後増えたい。 ・コロナ禍なのに近所の保育園と連絡を取って下り頭が下がる ・コロナ禍なので難しいと思う。今はできない。 ・特にあるとは思いません。
保護者への説明等					
7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16				・説明を受けています。
8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16				・できています
9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16				・できています
10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士のつながりづくりを支援しているか	13	3			・保護者同士のつながりは、保護者が考えることかと思っている。 ・しっかりと活動されています
11 苦情があった場合は、適切に対応し、改善策を速やかに伝えているか	14	2			・事例がないので不明
12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15			1	・会報や、集まりがあります
13 定期的に会報やHP等で、活動内容などの情報や業務に関する自己評価の結果を発信しているか	14	2			
14 個人情報に十分注意しているか	13	3			・されています
非常災害の対応					
15 火災や地震、感染症などの対策がなされているか	15	1			
16 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練や備品管理をしているか	13	3			
満足度					
17 子どもは通所を楽しみにしているか	15	1			・これが第一です！（「はい」回答のかた） ・とても楽しみにしています
18 活動に満足しているか	14	2			・とても満足しています



<全体的な評価・分析等>

- ・回収率が60%をきった。実施期間を長く設定していたが、締め切り前に、再度提出の協力をしてもらおうと良かった。
- ・コロナ禍で、地域交流や保護者同士のつながりなど、以前できていたことができなくなっている。
- ・地域交流は引き続き難しいが、保護者と事業所、または保護者同士のコミュニケーションの場は、オンラインツールを活用して解決できると良い。
- ・地域交流以外で、「いいえ」の回答はなかったが、全体的に「わからない」という回答数が多かった。
- ・各項目に関する具体的な取り組みについて、保護者会やお便りなどを通じて発信していくことで、事業所運営の透明化が図られると思う。
- ・「課題・工夫している点など」の自由記述部分は、全体的に記入する人が少なかった。
- ・原因として、記入の手間、意見を記入すること自体への抵抗感、手書きで匿名性が低くなることなどが考えられる。
- ・より多くの意見を集約できる方法を考えたい。

2021年度自己評価

事業所名	わんぱくクラブ駒沢	世帯数	27世帯	職員数	12人
アンケート実施期間	2021/12/23～ 2022/1/15	回答数	16世帯	回答数	7人
		回答率	59.3%	回答率	58.3%

	工夫している点	課題	改善目標
環境・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>靴箱や荷物置きは、あえて場所を固定しないことで、子ども達が主体的に選べる環境を整えている。</li> <li>園庭にすぐに出られる環境を整えている。</li> <li>カムダウンルームを設け、パニック等の非常時に使用している。</li> <li>スタッフ年齢層は、20代～60代。様々な年齢のスタッフを配置することで、多様な関わりができる環境にある。日々の子ども:スタッフの割合を、2:1以上にし、手厚い支援体制を敷いている。</li> <li>その日來所する子どもによって、遊具の配置を変えて、遊びやすい環境をつくるよう努めている。</li> <li>室内でも体を動かして遊べるよう、マットやトランポリン、ハンモックブランコなど、大型の遊具を設置している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>死角となる場所が複数ある。</li> <li>スタッフ1人1人が遊ぶ力を伸ばし、1:1の遊びから複数の子どもの遊びへと広げられるようにしたい。</li> <li>手厚い支援体制のため、人件費がかかる。</li> <li>業年数が経っているため、所々修繕が必要な場所が出てきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理研修・遊びの学習会等を行う。</li> <li>必要な物品の購入や買い替えを進める。</li> </ul>
今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>園庭とホール、ホールとB室など、状況に応じて、2ヶ所を基点として活動し、全体把握に努めた。</li> <li>トイレの扉、園庭に抜ける扉、玄関扉など、修繕を行った。</li> <li>子ども達が自分で取れる場所に、遊具を設置した。來所する子に合わせて遊具を入れ替えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍において出席人数が減ったことで対応できる職員配置だったが、今後受け入れ人数を増やしていく上で、人員の補充は必須。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルバイトスタッフの雇用に注力する。</li> </ul>
業務改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育後に、当日の振り返り会議(終礼)と、個人記録の記入時間を1時間設け、スタッフ全体で当日の保育を総括したり、課題解決の検討を行ったりしている。</li> <li>常勤職員で課題について共有し、改善策を考え、実行している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員によって、情報共有の程度にムラが生じている。常勤職員のみ、あるいは施設長のみが把握していることも多くある。</li> <li>また、情報共有されるタイミングが遅いことがある。</li> <li>保育時間に対して実務時間が少ないため、実務が遅れたり、残業に繋がったりしている。</li> <li>全体のスキルアップに繋がるような研修、学習の機会が少なくなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本評価の結果について周知し、「わからない」と回答があった点について説明する。</li> </ul>
今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>週頭に職員会議(週のみ)を行い、前週の保育の振り返りを行うようにした。</li> <li>面談月を、毎年2回、同時期に集中させていたが、利用者の誕生日前月と6月後に行うよう移行している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月の目標と、まとめを行っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間目標に基づき、月間・週間と落とし込むようにする。</li> </ul>
適切な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>終礼を、活動報告だけに留まらず、支援の方向性や課題を検討する場としている。</li> <li>表面的な行動面だけに着目した対応ではなく、背景にある児童の心の揺れ動きを捉えることを大事にしている。</li> <li>感染防止対策として、來所時の検温・手指消毒・マスク着用の奨励を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に生活面(支度や着替えなど)で、声掛けや先回りの援助が多いことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが主体的に取り組めるよう、声掛けを減らしたり、見守ったりするなど、援助スタイルの引き出しを増やす。</li> <li>職員も遊びを作りやすい環境づくりを行う。來所児に合わせた遊具の選択や設置、遊びやすい遊具の購入などを行う。</li> <li>常勤職員が遊びを率先してつくり、遊び方を広く伝えていく。</li> </ul>
今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナの感染拡大に伴い、2020年秋から停止していたおやつを、11月より部分的に再開した。</li> <li>代替的サービスを実施した。動画やオンラインでの支援を行い、特に感染拡大時期に児童とつながりを持てるよう配慮した。</li> <li>声かけを意識する週間を設け、週が終わった時に振り返りを行った。</li> <li>遊具の入れ替えや補充をし、今後の購入計画を立てた。</li> <li>個人のフェイスシートを作成し、情報共有に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通常保育と代替的サービスを両立させる負荷が職員にかかっている。</li> <li>声かけの学習会を計画したが、実行できていない。</li> <li>地域交流はコロナ禍の影響で引き続き行っていない。</li> <li>支援計画の検討やケース検討会議が不十分。</li> <li>ヒヤリハットの共有が不十分。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間予定で、常勤職員が主催する施設内学習会を入れる。</li> <li>支援計画作成時期に終礼で検討する機会を設ける。</li> <li>来年度よりヒヤリハットのデータを一か所にまとめ、週ごと・月ごとに印刷後、各職員に共有する。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後連東京定例会に、非定期だが参加した。地域の課題や行政の動きを知る機会となった。</li> <li>保護者へは、お迎え時や連絡帳を通して、当日の様子を伝えている。</li> </ul>		
今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人記録を毎月配るようになった。</li> <li>おたよりを毎月1回発行する形に変更した。</li> <li>保護者会を1度開催した。</li> <li>本年度は支援会議の開催がなかった。</li> <li>自立支援協議会はほとんど参加しなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録の回収が遅れるなど、管理部分で問題が生じている。</li> <li>連絡帳は、内容確認に留まることもあった。保育中の子どもの様子を十分に書けないことがあった。</li> <li>自立支援協議会は、高齢障害者や精神障害者をテーマに扱うことが多く、児童としての参加がしづらい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回分の記録が戻ってきたら、次の記録を配る形にする。</li> <li>おたよりは、活動内容の報告になりがらだが、活動や関わりを通した子どもの成長や、心の動きを表現することも大事にしたい。</li> </ul>
保護者への説明責任等	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦情内容の確認は即日に行い、職員間で共有している。</li> <li>事故が生じた際は、法人で定めたマニュアルに則り、速やかに保護者に連絡し、状況報告を行う。</li> <li>新規利用者については、契約開始時に、利用料金や、放デイの仕組み等について説明している。</li> </ul>		
今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>報酬改定に伴い、おたよりで制度の変更点を説明し、契約書別紙に記入してもらった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスに伴う、キャンセル料の取り扱いがたについて、ルールが明確に周知されていなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャンセル料について、法人で定めたルールを周知する。</li> </ul>
非常時等の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>入会時や定期的に行うアレルギー・てんかん調査表に基づき、非常時の対応について把握している。</li> <li>災害備蓄品を置いている。定期的に点検し、年間で予算を決めて購入している。</li> <li>避難経路図を作成し、室内に掲示している。</li> <li>法人内で作成した、「事故等緊急連絡網」「緊急時医療関係連絡先」を掲示している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>日程を計画し、そのために必要な人員配置を行う。</li> </ul>
今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急的な通院を必要とするような事故は発生しなかった。</li> <li>災害伝言ダイヤルWeb版を1度練習として利用した。</li> <li>地震避難訓練を1度実施した。</li> <li>玉川警察署員による、不審者対応訓練を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対応手順の確認が不十分。平時の時に確認する必要がある。</li> <li>災害伝言ダイヤルの練習を毎月行えなかった。</li> <li>火事想定避難訓練を行えなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員間で、事故対応手順を確認する。</li> <li>災害伝言ダイヤルの練習は、次年度より、年3回に絞って実施する。</li> <li>火事想定避難訓練を実施する。日程を予め定める。</li> </ul>